

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

“ANA VISION”第59期第3四半期のご報告をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当第3四半期においては、貨物事業は増収となりましたが、国内線旅客事業、国際線旅客事業、旅行事業等が減収であったことから、前年同期に比べ減収減益となりました。また、当社を取り巻く経営環境が貨物事業も含め一層厳しくなっていると認識し、今年度の業績見通しを再度下方修正することにいたしました。

ANAグループでは、2010年の成田空港、羽田空港の発着回数増加を事業拡大のチャンスととらえ、数年来かけてこれに備えてまいりました。当面の難局は、グループ3万人を挙げて人智を結集する「ピンチこそチャンス2009」と増収のために能動的に立ち向かう「ミンナでセールス」の2大作戦を展開して、乗り切っていきたいと考えています。その先にはANAグループの飛躍があると確信しています。

今後とも、安全が経営の基盤であり社会への責務であることを肝に銘じ、価値ある時間と空間を創造してまいります。



株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2009年3月

代表取締役社長

山元 峯生

Contents

1 株主の皆様へ

2 情報ダイジェスト(2008年12月～2009年2月)

3-4 ANAグループ第3四半期連結財務諸表 第3四半期概況 2009年3月期業績見通し

5-8 当面の業績動向について 日中間 公敬CFO(財務部担当専務取締役) インタビュー

9-11 ANAでひとつ飛び! vol.12 地元女将おすすめの 稚内・礼文・利尻の旅

12-14 アンケート集計結果のご報告

裏表紙 株主メモ 株主インフォメーション

表紙	ボーイング737-800型機
全幅	35.8m
全長	39.5m
全高	12.5m
座席数	167席



社長交代について

2009年1月16日(金)開催の臨時取締役会において代表取締役副社長、伊東 信一郎(58歳)が2009年4月1日をもって代表取締役社長に昇格することを決定いたしました。また、代表取締役社長、山元 峯生(63歳)は同日付で代表取締役副会長に就任いたします。



写真左が山元社長、
右が伊東副社長